



日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

【理念】

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

【基本方針】

1.〈木材利用の地球環境貢献〉

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

2.〈事業活動〉

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

3.〈社会活動〉

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

4.〈情報発信〉

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報は環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会
平成21年度会長

久我 洋一



平成25年度

木青連だより

〔事業報告書〕

長野県木材青壮年団体連合会



平成25年度

木青連だより

目次

ごあいさつ	長野県木青連 会長 中澤 勝成	1
平成25年度事業概要		2
平成25年度会議・事業経過報告		4
平成25年度組織図		4
平成25年度出向者		4
一年を振り返って		
	長野県木青連 直前会長 島田 直政	5
	長野県木青連 会長代行副会長 宮川 秀紀	6
	長野県木青連 副会長 深澤 猛	6
	長野県木青連 副会長 田中 雄介	6
	日本木青連 木質開拓委員会副委員長 印出 晃	7
	日本木青連 木質開拓委員会委員 小林 稔政	7
	日本木青連 木育創造委員会委員 瀧沢 良夫	7
第36回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告		8
第36回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト		10
住まいと省エネフェア2013事業報告		15
信州環境フェア2013事業報告		15
会団事業報告	北信木青連	16
	東信木青連	17
	松本材青会	18
長野県木青連理事会議事録		20

ごあいさつ



長野県木材青壮年団体連合会
平成25年度会長 中澤 勝成

「楽しい時・充実している時、時の経つのが早い」という経験を皆さんもしたことがあると思います。私にとってまさにあつという間に過ぎた1年となりました。

今年度スタートの4月から、「木材利用ポイント」・「消費税増税」等木材業界にとって追い風となる環境となりました。また、9月には2020年東京オリンピックの開催が決定し、施設関連への木材利用を業界全体で推進していく方針で決まり、木材業界の活性化がますます期待される年となりました。

そんな中、我々も精力的に活動して行きたいという思いを込め【挑め！次代の木材】のスローガンを掲げ、事業規模を縮小する事なく活動することを目標にスタートを切りました。

メイン事業である第36回木工工作コンクールでは、作品総数4455点と多くの作品が出品され、日本の選考においても3作品が入選を果たしました。悲願である文部科学大臣賞の受賞は叶いませんでしたが、大変素晴らしい結果を残すことができました。

表彰式については、諏訪大社上社にて開催いたしました。これも、今までにない試みとなり、開催に至るまでには様々な方々にご苦労をおかけいたしましたが大変素晴らしい会場で開催する事ができたことをうれしく思っています。

そして、新しい挑戦として県林務部の公募する補助事業「信州の木活用モデル地域支援事業」に飯山市と協働して「長野新幹線モニュメント制作事業」で採択を頂きました。地域の区切りが有る為、主体は北信木青連で行い、県木青連が共催をする形で行いました。

この事業では、信州の木をPRすることは勿論のことですが、木青連とはどのような人達が、どのような活動をしているのかをより多くの人に知ってもらうことがもう1つの大きな目的でした。「エコロジー最前線」での放映、新聞等への掲載により大変多くの方々の目に触れることができたのではないかと感じています。この成果がどのような形で現れるか分かりませんが、木青連でこのような補助事業を取ることが出来たことは、当会にとってまた新たな可能性を示すことが出来たのではないかと感じています。

また、理事会においては今まで年5回開催の所、理事の皆さんの負担を減らしたい思いもあり年4回の開催としました。1回は全員出席の理事会を開催する事が目標でしたが達成できず残念に思います。4回では日本からの通達事項等やいろいろなことが伝えづらい部分があると感じるところもありましたが、そこは当会のホームページ等ネットワークをもう少しうまく活用する仕組みを構築していくことでクリアーできる部分ではないかと感じました。

1年を通して、何とか事業規模を縮小することなく、新しい事業にも行うことが出来ました。これも執行部をはじめとする会員の皆様、そして関係諸団体・諸先輩方皆様のお力添えのもとやり抜くことが出来ましたことを心より感謝致します。

1年間ありがとうございました。

平成25年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会
平成25年度会長 中澤 勝成

会長指針

本年度、当会もついに会員数40名を割り、37名でのスタートを切ることとなりました。創設からこの日に至るまで、多くの諸先輩方が大いなる情熱と不屈の精神を持って受け継がれてきた木青連ですが、このような状況になる事を誰が想像したでしょうか。

近年では会員数の減少と反するように、活動内容が濃くなってきているように思います。しかしそれは輝かしい実績と歴史有る当会に寄せる周囲からの期待の表れであると感じております。またそれをやり遂げることができるのも、活気と情熱に溢れる当会だからこそではないでしょうか。

会員数が減る本年度は、昨年以上に会員ひとりひとりの尽力が必要とされる年となりますが、まずは昨年行われた事業規模を縮小する事なく活動する事を第一目標に掲げて行きたいと思っております。そして未来の木材界の為に、「木工工作コンクール」や「木工教室」等の事業を通して、木の素晴らしさ・自然の大切さを、子供たちをはじめ、多くの方々に伝える啓蒙活動を積極的に行っていき、木青連の存在意義を示していきたいと考えております。

政治・経済が目まぐるしく変化をする中、我々木材界もこの不況下で、まだまだ厳しい状況が続くと考えられます。しかし一方では住宅をはじめ、公共建築物・環境・エネルギー関連等にまで幅広く様々な未来に継がる木材活用の政策が打ち出されています。また消費税増税が現実化となった事で、駆け込み需要の期待も膨らんできています。資材不足・資材価格の高騰等の問題もありますが、業界にとって追い風が吹きつつあるのではないかと感じております。木材業界に関するさまざまな情報を、今まで以上に木青連内外のコミュニケーションを図り、ネットワークを広げる事で、木青連ならではの情報を会員皆様の社業に役立つようやり取りできる会となればと考えています。

我々長野県木材界の次代を担う精鋭として、英知と情熱を結集し不屈の精神を持って木材界の発展のために共に挑んでまいりましょう。

スローガン

「挑め! 次代の木材人」

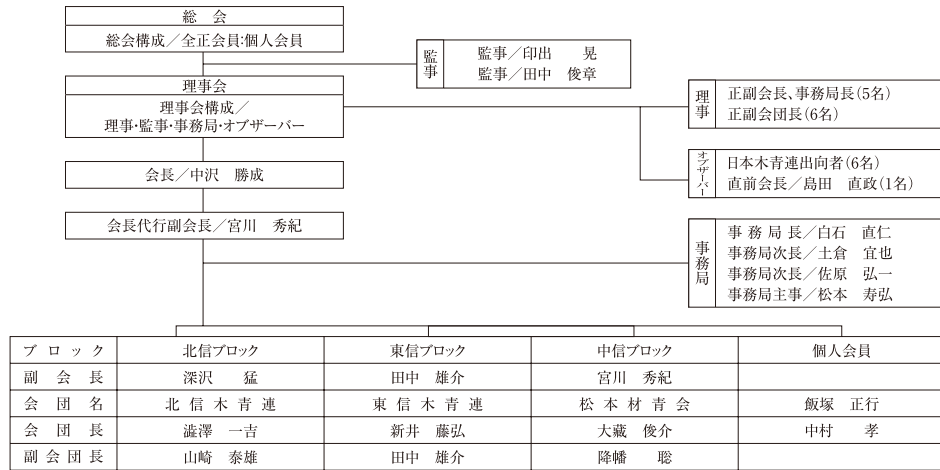
基本方針

1. 木のすばらしさ、ぬくもり、木づかいの文化を多くの方に伝えよう
2. 組織内外のコミュニケーションを深め、ネットワークを広げよう

事業計画

- 【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議
 - (1) 定時総会
 - (2) 理事会
 - (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会
- 【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業
 - (1) 第54回県会員北信大会
 - (2) 第36回長野県児童・生徒木工工作コンクール
 - (3) PRカレンダーの斡旋
 - (4) 木工教室
 - (5) 会員拡大
 - (6) 木青連だよりの発行
- 【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業
 - (1) 木材PR事業
- 【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業
 - (1) 第58回全国会員岩手大会
 - (2) 第38回全国児童・生徒木工工作コンクール
 - (3) 第17回日本木青連木材活用コンクール
 - (4) ウッディレターの配信
 - (5) 総会、理事会、委員会
- 【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業
 - (1) 北信越地区会員大会
 - (2) 北信越地区協議会
- 【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業
 - (1) 長野県産材振興対策協議会が主催する事業
 - (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
 - (3) 長野県木材振興基金が主催する事業
 - (4) (財)長野県建築住宅センターが主催する事業
 - (5) 県、中部森林管理局等が主催する事業

平成25年度 組織図



平成25年度 会議・事業経過報告

3月1日(金) 正副会長事務局引継会議	長 野:林業センター
3月15日(金) 日本木青連 理事予定者会議	東 京:東京原木会館
3月23日(土) 理事予定者会議	長 野:林業センター
4月13日(土) 日本木青連 第1回理事会	東 京:木材会館
北信木青連総会	長 野:ホテルヒロボタン
4月24日(水) 東信木青連総会	上 田:ささや
4月25日(木) 松本材青会総会	松 本:ホテルモンテ・ニッポン
5月11日(土) 第54回県会員北信大会	長 野:ホテル国際21
5月25日(土) 第1回理事会	長 野:長野木協事務所
5月30日(木) 県木青連総会	長 野:林業センター
5月31日(金) 第58回全国会員岩手大会・第2回理事会	岩 手:盛岡市
6月1日(土)	〃
6月8日(土) 住まいと省エネフェア2013木工教室	長 野:Mウェーブ
6月9日(日)	〃
6月21日(金) 木材産業振興基金総会	長 野:林業センター
6月29日(土) 北信越協議会	石 川:山代温泉
7月27日(土) 第2回理事会	長 野:林業センター
8月23日(金) 環境フェア2013木工教室	長 野:ビッグハット
8月24日(土)	〃
9月21日(土) 日本木青連 第3回理事会	福 岡:
9月28日(土) 北信越協議会	福 井:アオッサ
10月4日(金) 木工工作審査会	松 本:松本合同庁舎
10月26日(土) 木工工作コンクール表彰式	長 野:諏訪大社上社
11月1日(金) 北信越協議会	富 山:第一イン新湊
11月9日(土) 日本木青連第4回理事会	名古屋:ポートメッセなごや
11月21日(木) 第48回全国木材産業振興大会	埼 玉:浦和
11月22日(金)	〃
12月2日(月) 農政林委員会懇談会	長 野:県庁議会議棟
12月7日(土) 第3回理事会	山ノ内町:渋温泉和合会
1月11日(土) 日本木青連第4回理事会	東 京:東京原木会館
2月22日(土) 第4回理事会	上 田:ささや
北信越協議会 長野大会	上 田:ささや

平成25年度 出向者

《1》日本木材青壮年団体連合会	島田 直政[東信木青連]
理事 常任理事	中沢 勝成[北信木青連]
理事 会団長理事	印出 晃[松本材青会]
木質開拓委員会副委員長	小林 稔政[松本材青会]
木質開拓委員会委員	新井 藤弘[東信木青連]
木育創造委員会委員	瀧沢 良夫[北信木青連]
《2》日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会	島田 直政[東信木青連]
地区会長	田中 俊章[東信木青連]
事務局	中沢 勝成[北信木青連]
県会団代表	宮川 秀紀[松本材青会]
県会団代表	白石 直仁[北信木青連]
県会団代表	土倉 宜也[北信木青連]
《3》長野県木材産業振興基金	中沢 勝成[北信木青連]
理事	宮川 秀紀[松本材青会]
理事	深沢 猛[北信木青連]
評議員	白石 直仁[北信木青連]
評議員	
《4》長野県県産材振興対策協議会	中沢 勝成[北信木青連]
理事	白石 直仁[北信木青連]
幹事	
《5》長野県木材産業政治連盟	中沢 勝成[北信木青連]
副会長	宮川 秀紀[松本材青会]
委員	
《6》(公財)長野県緑の基金	中沢 勝成[北信木青連]
評議員	

一年を振り返って



平成25年度 長野県木材青壮年団体連合会
直前会長

島田 直政

まず初めに、一年間長野県木青連を支えて頂いた方々に心より感謝申し上げます。

また、北信越地区長として日本木青連へ出向させていただき、ご協力、ご支援頂いた会員の仲間にも改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

平成25年度はとにかく木青連としての公務出張が多かったのでここに私の活動記録をご報告させていただきます。

1年間沢山の仲間と出会い、行動を共にできたことを本当に有り難く思っております。また、どこで何をやるにしても、真剣に行動をし、真剣に励めば、それだけの学びがあることを今年一年の木青連活動を通して学ばせていただきました。

日本木青連出向者として、日本木青連と地元会団を「つなぐ(日本木青連今年度スローガン)」ことが少しはできた一年だったとも思っております。直前会長としては役不足だったように思いますが、今後も木青連活動を通じ木材業界発展のために、少しでも役に立てるよう邁進して参りますので、今後も木青連活動に変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い致します。

温故知新の心で、若い英知と情熱を結集し不屈の精神をもって行動しよう、木材界の発展のために！！

4月13日、14日	日本木青連 第1回理事会	東京都江東区
5月10日	長野県木青連 北信会員大会	長野県長野市
5月25日	長野県木青連 第1回理事会	長野県長野市
5月31日	日本木青連 全国大会	
6月1日、2日	日本木青連 第2回理事会	岩手県盛岡市
6月29日、30日	第1回北信越地区協議会	石川県加賀市
7月27日	長野県木青連 第2回理事会	長野県長野市
9月20日、21日	日本木青連 第3回理事会	福岡県福岡市
9月28日、29日	第2回北信越地区協議会	福井県福井市
10月26日	長野県木青連 木工コンクール表彰式	長野県諏訪市
11月1日、2日	第3回北信越地区協議会	富山県射水市
11月9日、10日	日本木青連 第4回理事会	愛知県名古屋
11月21日、22日	全木連 全国大会	埼玉県大宮市
11月23日	関東地区協議会 会員大会	静岡県静岡市
12月7日、8日	長野県木青連 第4回理事会 第4回北信越地区協議会	長野県山ノ内町
12月17日	北信越地区協議会 役員会	福井県越前市
12月19日、20日	日本木青連 復興市	愛知県名古屋
1月10日、11日	日本木青連 第5回理事会	東京都江東区
1月26日、27日	北信越地区協議会 役員会	石川県加賀市
2月22日	北信越地区協議会 会員大会	長野県上田市
3月7日、8日	日本木青連 第6回理事会	東京都江東区

一年を振り返って



平成25年度 長野県木材青壮年団体連合会
会長代行副会長

宮川 秀紀

今年度は中澤会長のもと代行会長副会長を担当させていただきました。

久しぶりに理事会等に参加させていただき本当にあっという間の1年間だったような気がします。本年度より、理事会が5回から4回に減ったこともあり1回の理事会での議案数が増え内容的にも濃い理事会が開催されたのではないかと思います。

しかし長野県木材青壮年団体連合会の会員数は年々減少の一途をたどっています。早く減少傾向から脱していかないと理事

会の回数を減らすことで会員の負担を減らすことだけでは済まない状況が目前にまで来ているような気がしてなりません。

来年度は長野県木材青壮年団体連合会の会長として会を引っ張る存在にならなければなりません。今年度の中澤会長の継続として木材界の発展の為に今年度以上に積極的に活動していきます。

今年度、代行会長副会長として1年間活動できたのは会員の皆様のご協力があったからこそと思います。特に地元、松本材青会の仲間みなさんにはさまざまな場面でのご協力を頂きまして感謝するとともに木青連の仲間の友情に応えるためにも来年度以降もがんばって活動してまいりたいと考えます。

1年間何も出来ず終わってしまいました本当に申し訳ございませんでした。1年間ありがとうございました。

一年を振り返って



平成25年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

深沢 猛

平成25年度の県木青連は、中澤勝成会長のもと、北信会団が中心となって一年を活動しました。わたしは副会長として実務に携わらせてもらいましたが、中澤会長はすべての決断にスピード感があったという印象です。

当会は、ここ数年、会員数の減少から収入の面で厳しい局面に立たされています。その中で必要な事業を選別、整理し、会員の負担を抑えながらも、いかに事業の趣旨を汲み取って内容の充実を図るか、議論を重ねてきました。そうした議論の積み重ねを経て、どのような活動をしていかなければならないか、会長の中には予定者の段階でビジョンがあったと感じました。

その例として、二点を挙げます。ひとつは木工工作コンクール表彰式の会場の問題がありました。木工コンクールが非常に重要な事業であることは皆理解しているのですが、その内容を

充実させることと、会ができることの折り合いをつけることは非常に難しいというのが、ここ数年の印象でした。4月から議論を始めるのでは、タイミングや金銭の面で難しさがあります。今年度は諏訪大社を表彰式会場にすることができ、木の温もりを伝えるという趣旨に沿い、参加者に喜んでもらえる式典ができました。その準備が非常に早く、問題への対処も先手を打って動くことができたのです。

もう一点は、新規事業としての「信州の木活用モデル事業」でした。飯山新幹線開業に合わせて、木の活用を募る事業に応募し、体験学習や共同作業の場を提供しました。連合会の看板を掲げていることで、非常に大きな成果を上げることができた事業でした。これも年度の当初から計画に組み込む気持ちがあったからできたことだったと思います。

いままでの議論の積み重ね、事業の整理があったからこそこの成果だとは思いますが、新しい一歩を踏み出すことができた一年だったと感じています。こうした新しい方向性は引き続き議論していってほしいと思いますし、さらなる発展を期待しています。

一年を振り返って



平成25年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

田中 雄介

平成25年度、中沢会長のもと木工工作担当副会長を務めさせていただきました。今年度で36回を数える木工工作コンクールを無事に行えたことは、会員はもとより各地区の作品を取りまとめてくださいました皆様、関係諸団体の皆様の御協力があったの事と思っています。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、今年度の応募作品数は4455点の力作が集まり、去る10月26日には諏訪大社上社での表彰式が盛大に執り行うことが出

来ました。また、この受賞されました作品を全国木工工作コンクールの審査会に出展致したところ、3点もの入賞を頂くことに決まり、来年度の全国会員宮崎大会において表彰されます。

このように素晴らしい作品が数多く長野県より出展された事は、児童生徒の励みになることと思います。是非とも木工工作コンクールの事業が今後継続し、多くの子供たちが木の素晴らしいさを実感できる場として発展することを望みます。

最後に、25年度理事の皆様や会員の皆様本当にありがとうございました。

一年を振り返って



平成25年度 日本木材青壮年団体連合会
木質開拓委員会 副委員長

印出 晃

平成25年度は、木材開拓委員会の副委員長として日本木材青壮年団体連合会に出向させていただきました。日本木青連への出向は3年ぶりでしたが、いざ出向してみると、顔見知りが多く懐かしく思いました。一方で、日本出向者の顔ぶれがあまり変わらないのは、組織の規模に対して、理事や委員などの役が多いのかなとも思いました。多少の増減はあるものの、大きく見ると会員数は減少傾向にあります。これは木青連に限ったことではありませんが、会員数の減少により、予算額が縮小していく中で会の運営というものは非常に厳しいものだと思います。

その中で、本年度も例年同様の規模の事業を行ってまいりました。私が担当した木材開拓委員会のメインの事業は木材活用コンクールです。木材の良さを生かした、素晴らしい建物、利用方法、建材等の5つの部門でのコンクールです。今年は、下荒委員長のもと、会員投票による賞を設けようということになり、イン

一年を振り返って



平成25年度 日本木材青壮年団体連合会
木質開拓委員会 委員

小林 稔政

平成25年度は、木質開拓委員会に委員として日本木材青壮年団体連合会に出向させていただきました。この委員会は今回で16回を迎える木材活用コンクールの企画、運営を担当する委員会となります。北信越地区から委員長として下荒君が出向していたこともあり、少しばかりのお手伝いをさせて頂きました。コンク

一年を振り返って



平成25年度 日本木材青壮年団体連合会
木育創造委員会 委員

瀧沢 良夫

25年度日本木青連 木育創造委員会出向もあわずかで、全国会員宮崎大会をこのすのみとなりました。

今回の委員会活動の内容は例年と比べ作業が増えました。木工審査会の準備運営等は例年どおりですが、環境問題を取り上げた冊子をこの1年をかけて作成いたしました。

長年木工工作委員会に出向していますが、25年度の活動で臨時委員会や各地区で資料の担当を割振り委員会でもとめるという作業を行ってきました。

いままではなかった委員会活動でした。25年度の全国木工工作審査会も福岡にて26年3月2日(日)に無事終了しました。

ターネットを利用して会員投票を行いました。木材活用コンクールは今まで、応募者と委員が主体で行っている事業というイメージがありましたが、会員投票を行うことにより、木青連の事業の一つである木材活用コンクールがどんなものなのか、より深く会員の皆さんに知ってもらい、興味を持っていただくという意味では良い取り組みができたのではないかと思います。現状では諸事情によりコンクールの応募期間も短く、スケジュール的には非常にタイトになってしまいます。当初応募数が少なく、本コンクールの内容を良く知る一部の方からしか応募がありませんでした。このためギリギリまで各県の役員の皆様にはご尽力いただきました。ありがとうございます。また、本年度行った会員投票により、会員の皆さんに認知度が高まり、来年度からはもっと気軽に多くの方から応募がいただければと思います。一方でもう少し余裕を持って応募、審査ができるようにシステムを変更することを今後期待します。

私個人としては、副委員長でありながらなかなか都合が折り合わず、あまりお力になれなかったことが残念であり、委員長をはじめ他の委員の方にご負担をかけてしまい申し訳なく思っております。また、次の委員会では頑張りたいと思います。

ルも何回も続くとマンネリが生じるため、今年度は下荒委員長のリーダーシップのもと持続するためのいくつかの取組がなされました。私個人としてはなかなか都合がつかず、委員長をはじめほかの委員の方にご負担をかけてしまい申し訳なく思っております。また来年も出向がありそうなのでそこで頑張りたいと思います。一年間ありがとうございました。

今年長野県の作品出品数が5点中3点も賞をとり異例の事象となりました。

毎年審査会場もその年度委員長担当地区で行われますが、これもさまざまな会場設営になり毎回同じ運営進行とはいきません。会場設営の一番大変な所の一つと言えます。

審査員の先生方やスポンサーとして来ていただいている担当の方々も毎年恒例行事ですので審査会の要領も心得ており、前年度に比べスムーズに審査会が終了しました。

各メンバーの負担もかなり軽減されたのではないのでしょうか。引き続き木工工作委員会に出向してまいります。数年後に北信越地区に全国大会の順番がまわってきます。会員メンバーの減少とともに負担が増えていくことが心配されますが少数精鋭でなんとか乗り越えていきたいと思っております。

そして本番は全国会員宮崎大会です。木工工作委員会もまだこれからですので、メンバーと共にがんばっていきたく思います。

第36回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいづれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

【応募基準】 (1) テーマ

自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)

(2) 大きさ

タテ・ヨコ・高さ それぞれ75cm以内とする。

(3) 締切り

平成25年9月6日(金)

(4) 送り先

最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

事業日程	年月日	場 所	内 容
	平成25年 6月下旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付、各関係機関への依頼書送付
	7月～8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中)、各材料の提供配布は地元会員が手配
	9月 6日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
	9月 7日～13日	県下全域	各地区審査会を実施
	10月 4日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
	10月 7日～11日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
	10月21日～25日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1Fロビーにて展示
	10月26日	諏訪市	諏訪市「諏訪大社上社本宮」にて表彰式
	平成26年 3月 2日	福岡県春日市	全国児童生徒木工工作コンクール審査会に作品出展
	6月14日(予定)	宮崎県宮崎市	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】 <基準>

各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。

また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行った。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成25年10月4日(金) 松本合同庁舎(502会議室)

【審査員】 審査委員長 長野県教育委員会 中信教育事務所 指導主事 竹内 秀昌 様

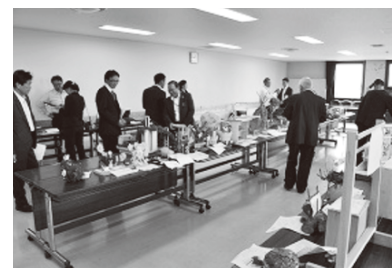
審査委員 長野県林務部 信州の木振興課 県産材利用推進室 室長 山崎 明 様
 中部森林管理局 中信森林管理署 地域林政調整官 柳澤 元雄 様
 (公財)長野県緑の基金 書記 笹原まゆみ 様
 長野県産材振興対策協議会 理事 徳原 敏昭 様
 長野県木材協同組合連合会 理事長 細川 忠國 様
 長野県木材青壮年団体連合会 会長 中澤 勝成 様
 長野県木材青壮年団体連合会 直前会長 島田 直政 様
 長野県木材青壮年団体連合会 代行副会長 宮川 秀紀 様
 長野県木材青壮年団体連合会 副会長 田中 雄介 様
 長野県木材青壮年団体連合会 事務局長 白石 直仁 様
 計11名



(左から)
 長野県教育委員会事務局 中信教育事務所 竹内指導主事様

長野県林務部 信州の木振興課 山崎室長様
 県産材利用推進室 柳澤地域林政調整官様
 中部森林管理局 中信森林管理署 柳澤地域林政調整官様
 (公財)長野県緑の基金 笹原書記様
 長野県木材協同組合連合会 細川理事長様
 長野県産材振興対策協議会 徳原理事様

【審査風景】



【展示風景】 平成25年10月7日(月)～10月11日(金) 松本合同庁舎1階ロビー
 平成25年10月21日(月)～10月25日(金) 長野県庁1階ロビー



【表彰式】 平成25年10月26日(土) 諏訪市「諏訪大社上社本宮」 参集殿



第36回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
そう作 よしの線	小林 礼乃	南木曾町立南木曾小学校	3年
不思議なブックエンド※1	北島 瑞季	諏訪郡原村立原小学校	6年
月灯り※2	北島 侑季	諏訪郡原村立原中学校	3年
パクパクラック※3	青木 凌河	長野県立諏訪養護学校	高等部2年

※1.日本木材青壮年団体連合会会長賞 受賞 ※2.NHK会長賞 受賞 ※3.損保ジャパン賞 受賞

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
新聞入れ	柳澤 聖二	上田市立豊殿小学校	4年

3. 中部森林管理局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
ランプシェード	山内 勇人	南箕輪村立南部小学校	4年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
どんぐりパーク	平出 真希	上田市立北小学校	4年

5. 長野県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
深海のタカアシガニ	武藤 まり	御代田町立御代田南小学校	5年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
木工のイス	柴 歩夢	伊那市立伊那小学校	6年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
しゅんべる号 (シヨベルカー)	北原 駿介	駒ヶ根市立赤穂南小学校	4年

8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
木でできたカメ	綱嶋 虹輝	中野市立平野小学校	5年
鳥の巣	鈴木 智也	中野市立延徳小学校	6年
トーマスポール	佐藤 宥元	上田市立長小学校	6年
カフト	斎藤 友仁	御代田町立御代田南小学校	1年
東京タワー	河野 純	御代田町立御代田南小学校	4年
森のどうぶつたち	向山 恭平	茅野市立宮川小学校	1年
メスのニワトリ	小平美優瑠	茅野市立豊平小学校	3年
ハウルの動く城	矢澤 央敬	辰野市立辰野東小学校	6年
ひまわり畑	麦島 彩夏	南木曾町立南木曾小学校	3年
ちょうのまうカレンダー	三石くるみ	南木曾町立南木曾小学校	6年

□第36回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数	4,434名	
参加学校数	小学校	134校
	中学校	2校
	盲・ろう・養護学校	1校
合計	137校	

審査会出品数	102点
入選(左記の1~7)	10点
優秀賞	10点
佳作	537点
努力賞	3,898点
総作品数	4,455点

最優秀賞(長野県知事賞)

そう作 よしの線

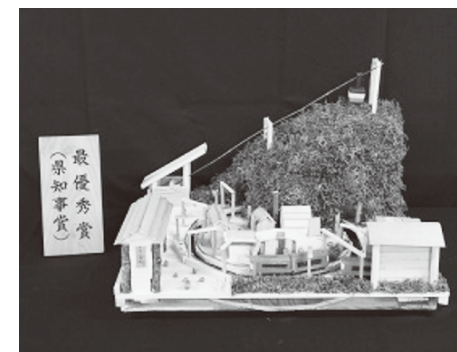
南木曾町立南木曾小学校3年 小林 礼乃

どうして夏休みの木工作品で『そう作よしの線』を作ろうと思ったのかというと、私は電車が大好きで、動く物を作りたかったからです。ロープウェイと電車が走っているよしの線を作ろうと思いました。

さいしょに、木を円のように十二角形に切りました。次に、土台の木をくぎで打ってはり合わせました。学校を作って、電車とロープウェイを作りました。ふじのつるで線路をはったり、マッチぼうでまくら木をはったりしました。まくら木の数が多くて、とてもたいへんでした。

竹ひごをあんで山を作り、駅や店を作りました。さいごにコケをかざってやっとかんせいしました。

作るのにすごくつかれたしたいへんだったけど、イメージした通りにできてとてもうれしかったです。



最優秀賞(県知事賞)・日本木材青壮年団体連合会会長賞

不思議なブックエンド

諏訪郡原村立原小学校6年 北島 瑞季

私がブックエンドを作ろうと思ったきっかけは、去年の木工工作コンクールで作った、「イルカのたな」の上に置けるサイズのブックエンドがほしいと思ったからです。

不思議な形になった理由は形を考えているときに最初は広がるブックエンドを考えましたが、もうちょっとおもしろくしようと家族みんなで考えてた時に、知り合いの人からおもしろい形のけやきの木をもらい考えてこの形になりました。

私の姉も小学校六年の時に、この賞に入ったので私も六年で知事賞がとれて良かったです。これからも賞がとれるように努力していきたいと思います。



最優秀賞(長野県知事賞)・NHK会長賞

月灯り

諏訪郡原村立原中学校3年 北島 侑季

今年でもう最後の木工工作で、今回は何を作ろうかとても悩みました。けれど今まで、ミニテーブル・イス・棚と、実用品にこだわって作ってきたので、やっぱり最後も実用品でしめたいという思いはゆるぎませんでした。

色々悩んだ末、ランプを作ろうと思い、考えました。様々な形を思いつき、一番しっくりきたのが三日月でした。

作っていった中で、一番苦戦したのが月の配置です。どうやったら自分で満足出来る形になるのか、試行錯誤をかさね、最後には思い通りの形になったので良かったです。

他に苦戦したのは、ランプの土台をビスでとめる部分です。毎年のことですが、なかなか上手く入らず、とめられず、大変でした。

今まで木工工作をやっていて、木を切ったり、つな

げたり、磨いたり…楽しかったです。最後に県知事賞を頂けて良かったです。



最優秀賞(県知事賞)・損保ジャパン賞

パクパクラック

長野県立諏訪養護学校 高等部2年 青木 凌河

パクパクラックは、木工班で作りました。

最初は、何を作るか迷いました。くまのすや、万能いすなどがありましたけど、考え付いたのがパクパクラックです。丸く切ってから、どうするか悩んで三角形に切りました。それから足は、クロスして作りました。パクパクラックの色は、スプレーでやるか、色をぬるのかどちらでやるのか迷いましたが、スプレーでやることにしました。スプレーで色ぬりをする時は、何回もスプレー缶を横に動かしながらやりました。下の木に色が付かないようにダンボールでカバーして最後にニスをぬりました。

完成してから色や形のバランスを見て、まあまあいい感じにできたなあと思いました。



長野県教育委員会賞

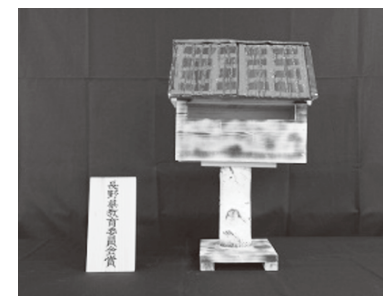
新聞入れ

上田市立豊殿小学校4年 柳澤 聖二

ぼくの家には、新聞入れがなくて、もともとげんかん横に、とりつけてある小さなゆう便うけしかありませんでした。なので新聞入れを、自分で、パソコンで調べせっ計して、作りました。お父さんの友だちである、小もろの、七十才のおじさんと、いっしょに、一生けん命作りました。

一番むずかしかった事は、がっしょう造りの、わらぶき屋根を作る事が、屋根のがっしょう造りにする事が一番むずかしかったです。

今度は、飛だ高山に言って、本物の、がっしょう造りの家を、見て見たいです。



中部森林管理局長賞

ランプシェード

南箕輪村立南部小学校4年 山内 勇人

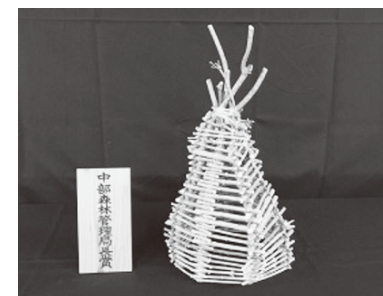
まずは、枝集めです。庭の枝はらいをした木が調度よい具合にかわいていたので、それを使う事にしました。

そして、骨組みです。これは、ものすごく大変で、がんばってまっすぐ枝を切ったのに、先っぽを集めると、ゴロンゴロンあっちこちになって、立ってくれませんでした。

「はあ、もうやだ。」と思ったけど、ななめに切ってみたり、家族に、おさえてもらったりして、やっとできました。

最後に、まわりをかこむ。これも一本づつ大変で、手にまめが、できそうなくらい、いたくて、まっかになって、家族にひもを引っぱってもらって、できました。

「いやだ。」と思った事もあったけど、すごくいいのができて、何日もかかったけど最後まで、できてよかったです。



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

どんぐりパーク

上田市立北小学校4年 平出 真希

わたしは、夏休みに公園に行って木の枝や松ぼっくりを集めました。昼間は暑いので夕方に行ったら、カヤブヨにたくさんさされてかゆくてたまらなかったのを思い出します。

どんぐりやり、とちの実、くるみなどの木の実は去年の秋に公園で拾いました。虫が出てこないように家の人にゆでもらい、かんそうさせたものです。

木のみでリスや鳥、カエル、ライオン、どんぐりくんなどを作っているうちに楽しくなって、ぶらんこやシーソー、すべり台、ターザンロープ、かんらん車など作ってふやしているうちに公園、ゆう園地のようなになりました。だから、題名は「どんぐりパーク」にしました。木の実の動物たちが楽しそうにあそんでいるように見えたらいと思います。わたしは作っていておもしろかったです。



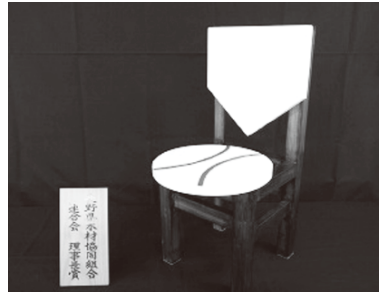
木工のイス

伊那市立伊那小学校6年 柴 歩夢

木工のイスを作るのに一番難しかったのは木を真っすぐ切る所です。木を真っすぐ切るのはほくは、すごく苦手です。けどがんばってやりました。そしたらけっこううまくできたのでよかったです。

一番楽しかったのは、イスの組み立てでした。ほくは、いろいろなものを組み立てるのが大好きで楽しくできました。イスの組み立ては、ドライバーを使いました。ドライバーを使うのは久しぶりでした。ドライバーをやるのは楽しかったです。

木工のイスは、ていねいに、しっかりと、ほくは、使っていきたいと思えます。



深海のタカアシガニ

御代田町立御代田南小学校5年 武藤 まり

今年は、大きな作品を作ろうと思って、カニの中で一番大きいタカアシガニを選びました。

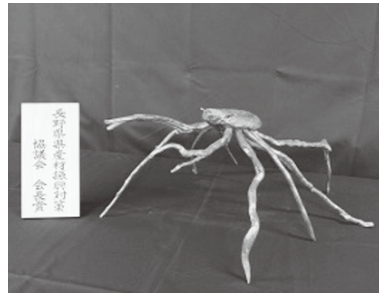
材料は、海で拾った流木です。カニに合う形の木を選んで作りました。特に頭の部分は、ちょうどカニの頭の形をした木があったのでそれをそのまま使いました。

工夫をした所はカニの色です。木の色がきえないようにちようせつして赤でぬりました。

足を8本付ける所がすごくむずかしかったです。でもうまくできて良かったです。

大きすぎてどうやって学校へ持って行ったら良いかわからず、お父さんと相談してビニールをまいてヒモを付けて持って行きました。

家の中でも置き場所に困って居間の床にそのまま置いていました。



作品が帰ってきたら、お父さんとどこにどうやって置くかいっしょに考えたいです。

しゅんべる号 (ショベルカー)

駒ヶ根市立赤穂南小学校4年 北原 駿介

ほくが、しゅんべる号を作るのに工夫したことは、3つあります。一つ目は、注し器の水あつを使って、動くようにしたこと。でも、何回か水がぬけてしまい、作り直しました。学校に出した後にも、水がぬけて、何回か作り直しました。二つ目は、コックピットです。色々なパーツをウッドチップの中からさがして、イスやレバーなどを作るのをがんばりました。三つ目は、すくうところを、おたまにしたことです。本当は、木で作りたいけどむずかしかったので、おたまを使いました。でも、少しはすくえらと思います。

ほくは、このほかに色々な工夫をして、作り直しました。そのしゅんべる号が入賞して、とてもうれしかったです。

来年も賞をとれるように、がんばりたいです。



住まいと省エネフェア2013[木工教室] 事業報告

事業報告書

【事業名称】 住まいと省エネフェア2013 木工教室(大人の文化祭同時開催) 【実施場所】 長野市 エムウェーブ
【実施日時】 平成25年6月8日(土)～9日(日) 10:00～17:00 【対象者】 住まいと省エネフェア及び大人の文化祭 来場者

【担当】 深沢 猛

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】 住まいと省エネフェア実行委員会が主催する「住まいと省エネフェア2013」で木工教室・木育教室を開催。
木工体験コーナー広さ 6m×4m 【当日風景】
ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 120セット

<1回毎の講座内容>

①森林の話し(2分) 県より ②イスの作り方(3分) 木青連

③イス作り開始(55分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

<準備品>

イスキット(グリーン材)120セット/木工工作道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ 10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 6月7日 16:00～17:00 材料搬入
6月8日 10:00～17:00 (9:30集合)
6月9日 10:00～17:00 (9:30集合)
17:00～ 片づけ、搬出

<木工教室開催時間>

1回目 10:30～11:20 [12組]
2回目 11:30～12:20 [12組]
3回目 13:30～14:20 [12組]
4回目 14:30～15:20 [12組]
5回目 15:30～16:20 [12組]



信州環境フェア2013[木工教室] 事業報告

事業報告書

【事業名称】 信州環境フェア2013 木工教室 【実施場所】 長野市 ビッグハット(若里多目的スポーツアリーナ)
【実施日時】 平成25年8月24日(土)～25日(日) 10:00～17:00 ※最終日16:00まで 【対象者】 一般(信州環境フェア 来場者)

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【担当】 深沢 猛

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりや松マイ箸づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】 信州環境フェア実行委員会、長野県地球温暖化防止活動推進センターが主催する「信州環境フェア2013」で木工教室・木育教室を開催。 【当日風景】
ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 120セット(予備20セット)
ヒノキ マイ箸づくり 2日間 100セット

<1回毎の講座内容>

①森林の話し(2分) ②イスの作り方(3分) 木青連

③イス作り開始(45分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

<準備品>

イスキット120セット/マイ箸材料 100膳/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ 10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 8月23日 16:00～17:00 材料搬入
8月24日 10:00～17:00 (9:30集合)
8月25日 10:00～16:00 (9:30集合)
16:00～ 片づけ、搬出

<木工教室開催時間>

1回目 10:30～11:20 [10組]
2回目 11:30～12:20 [10組]
3回目 13:30～14:20 [10組]
4回目 14:30～15:20 [10組]
5回目 15:30～16:20 [10組]
※最終日16:00



平成25年度事業実施報告書



北信木青連 会団長
澁澤 一吉

4月の定時総会において会団長に任命され、これまでと立場が違った形で木青連活動に携わる事に、多少の緊張と共に始まった一年も、早くも終わろうとしております。

県会員北信大会を早々に迎え、わが北信木青連より中沢会長を輩出しており、会場も長野ということで、成功させるよう尽力したつもりです。又、今年度は県木青連事業として、北信が中心となって「信州木活用モデル事業」にも注力することになり、例年以上のボリュームで望む一年となりました。

例年の活動である、間伐材イス製作事業も中野市高丘児童木工教室・城東小学校親子木工教室、省エネフェア・環境フェアではイス作りを通じて、木材の良さを少しではあり

ますがアピール出来たと思います。又「信州木活用モデル事業・いいやま花フェスタ」では小学生との交流や、飯山駅のモニュメント作成に多少なりとも携われて思い出深いものになりました。

本年度は、事業ばかりでなく、久しぶりに研修旅行を企画し「平成の大遷宮・出雲大社」に訪れることが出来ました。出雲大社の荘厳な雰囲気メンバーの皆と共有できたことは、又違ったよさがありました。

しかしながら今年一年を無事やってこれたのは、会員皆様の協力の賜物であり、会員なくては成り立たないことを実感しました。間をおかず26年度も直ぐに始まりますが、今年度以上のものを目指し、更に協力を強くすべく新たなメンバーの開拓にも尽力したい所です。

北信木青連 PR事業 事業報告

- ①事業名 中野市高丘児童木工教室
- ②日時 平成25年8月6日(火) 10:00~15:00
- ③場所 中野市高丘
- ④参加人数 30名
- ⑤内容・題材 ミニ椅子作り(椅子キット)
トータル60セット
<1回ごとの講座内容>
椅子の作り方
椅子作り開始
木青連は参加者のサポート



- ①事業名 城東小学校親子木工教室
- ②日時 平成25年10月26日(土)10:00~15:00
- ③場所 長野市三輪
- ④参加人数 30名
- ⑤内容・題材 ミニ椅子作り(椅子キット)
トータル60セット
<1回ごとの講座内容>
椅子の作り方
椅子作り開始
木青連は参加者のサポート



平成25年度事業実施報告書



平成25年度木質開拓委員会 委員
東信木青連 会団長
新井 藤弘

昨年度より東信地区では、2会団あった上小木青連と唐松会を合併させて、東信木青連という形で出発いよいよ2年が経ちました。

合併1年目と比べると、連絡や通達という意味疎通機能も徐々にではありますが安定してまいりました。次年度も会団長の予定でありますので、その辺を意識して会団活動を円滑に行えればと思っております。

また会団活動としては、上小支部は上小支部としての従来通りの活動を、北佐久支部でも同様に活動を展開させていただきました。次年度は共同事業といったものも考えての活動も検討したいと思っております。

次に今年度は木質開拓委員会の委員として日本木青連に出向させていただきました。

木質開拓委員会とは旧木材活用委員会でありまして、主に木材活用コンクールの開催等を主幹しております。ただ今年度は日本木青連の理事ではないこともあり、なかなか理事会に出席できませんでした。

昨年に引き続き木材活用コンクールに関わることができましたことはうれしく思っております。自分自身の都合がなかなかつかず、委員長に依頼された件についてあまり積極的に手伝えることができなかったの申し訳なく思っております。

メインイベントである木材活用コンクールの審査会には参加させていただき、いろいろ学ぶことがあったように思います。

出向することにより長野県木青連以外の木を愛する多くの方々との出会い、交流を深めることも出来たことは、これからも木材人として生きていくにあたり、素晴らしい財産になったのではと思っております。次年度日本木青連に出向する方々もそういったことを考えながら自身の幅を広げるとすばらしいと思います。

最後になりますが、東信木青連会団長としてまた木質開拓委員会委員として一年間無事に活動できたのは、会員のみなさんのご協力ご支援があったからこそ思っております。この場を借りまして心から感謝すると共に、これからも木青連活動にエネルギーを注いでいきたいと思っております。一年間ありがとうございました。

東信木青連 PR事業 事業報告

- ①事業名 佐久バルーンフェスティバル2013[木工教室]
- ②日時 平成25年5月3日(金)~4日(土)
9:00~17:00
- ③場所 佐久市 千曲川スポーツ交流広場
- ④参加人数 225人(来場者数)
- ⑤内容・題材 木工教室を開催。
・小椅子づくり(イスキット)2日間 225セット
※木青連は、参加者のイスづくりをサポート



- ①事業名 森の学校
- ②日時 10月19日(土)
- ③場所 上田市市民の森
- ④参加人数 95名
- ⑤内容・題材 小椅子作り・箸づくり



- ①事業名 上小地区木工工作コンクール表彰式
- ②日時 平成26年3月8日(土)
- ③場所 上小木協会の館
- ④参加人数 78名(保護者含む)
- ⑤内容・題材 上小地区での児童生徒木工工作コンクール表彰式



平成25年度事業実施報告書



松本材青会 会会長
大蔵 俊介

“若い英知と情熱”

平成25年度松本材青会の会会長を務めさせていただき、久々に長野県木青連理事という立場で活動に携わらせていただいたにも関わらず、各事業や会議などの参加が芳しくなく、島田北信越地区会長や中澤県木青連会長をはじめ理事の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたこと、まずは心よりお詫び申し上げます。

同時に、いっお会いしても良い意味で変わらない長野県木青連の仲間たちを嬉しく感じると共に、常に良い刺激を与えてくれることに感謝申し上げます。

地元会団である松本材青会の活動を通じ、年々松本材青会や長野県木青連の名前や存在が、行政をはじめ地域の皆様にも認知され、必要とされていることを改めて感じた1年でした。

我々が、“木材界の発展を通じ、よりよい社会を建設しよう”という想いの下、“若い英知と情熱を結集し”、議論を積み重ねて行なった活動は、少なからず地域に何らかの波紋を投げかけ、この地域の次代を担う子どもたちのためになっていると信じています。

平成26年度は、当会団から宮川県木青連会長を輩出させていただき、私自身も宮川会長の下で副会長を務めさせていただきます。木材界のためにも、長野県木青連のためにも、そして会社や社員、家族のためにも、更なる自己の成長を誓い、本年度の活動を全うしていきたいと思えます。

“若い英知と情熱”は、未知なる可能性を秘めた“宝物”であることを信じて…。

松本材青会 PR事業 事業報告

- ①事業名 親子木工教室(松本農林業祭り)
- ②日時 平成25年9月14日(土) 9:00~16:00
- ③場所 松本市 あがたの森公園
- ④参加人数 約100人(来場者数)
- ⑤内容・題材 椅子づくり体験 50セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



- ①事業名 木工教室(モクフェス2013)
- ②日時 平成25年10月20日(日)
- ③場所 松本市 アルプス公園
- ④参加人数 約300人(来場者数)
- ⑤内容・題材 県産材によるマイ箸作り 100セット
県産材による椅子作り 50セット
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート
ミニチュアハウス上棟式
※会団員は、参加者の建て方説明とサポート
拍子木演奏会(拍子木提供50セット)



- ①事業名 親子木工教室(ものづくりフェア2013長野)
- ②日時 平成25年11月9日(土)~10日(日)
9:00~17:00 最終日16:00まで
- ③場所 松本市 職業訓練校体育館
- ④参加人数 約200人×2日間(来場者数)
- ⑤内容・題材 椅子づくり体験 2日間で180セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者への作り方説明とサポート



長野県木青連 平成25年度 理事予定者会議 議事録

日時／平成25年3月23日(土)

場所／林業センター

出席者

直前会長 島田 直政
 ◎会長 中澤 勝成
 ◎代行副会長 宮川 秀紀
 監事 田中 俊章
 ◎副会長 深沢 猛
 ◎北信木青連 会団長 澁澤 一吉
 ◎北信木青連 副会団長 山崎 泰雄
 ◎東信木青連 会団長 新井 藤弘
 ◎事務局長 白石 直仁
 事務局次長 佐原 弘一
 事務局次長 土倉 宜也
 事務局主事 松本 寿弘
 オブザーバー 日野原和仁

出席者数13名 ◎印は理事

議長指名 中澤会長より宮川代行副会長を指名

議事録作成指名 白石直仁

定足数確認 理事11名中、出席8名 委任状2名 欠席1名 成立致します。

1号議案 中澤会長より事業計画(案)活動指針 上程

中澤会長より事業日程説明。
 組織図 役員案 職務分担

中澤会長より通年5回あった理事会を4回に変更します。
 中澤会長へ事業方針の講評 新井氏、澁澤氏、山崎氏よりエール
 採決 賛成多数 承認

2号議案 中澤会長より事業予算(案)活動指針 上程

新井東信会団長より補助事業が緑の基金150,000円減った理由を
 松本氏が説明「緑の基金」として負担金を廃止する代わりに木工
 工作等で援助
 新井東信会団長よりウッドイテラー購読料について中澤会長予
 定者より説明

雑収入 木工品販売増説明
 支出 会団PR会費35%から20%に 説明
 それについて中澤会長より説明
 大会費及び県大会費の説明
 事業運営費の説明
 事務局費の説明

島田会長より 前年度収支予算の対比が解るようにしてください。
 新井東信会団長より 来年度は新しい収入先を探していきましょう。
 採決 賛成多数 承認

3号議案 中澤会長より北信大会開催(案) 上程

白石事務局次長より 支払方法説明
 深沢副会長より 県大会に前年度卒業生を招待する 前年も同
 じく招待はしていたと説明
 新井氏より 通帳の件 中澤会長説明

採決 賛成多数 承認

4号議案 中澤会長より平成25年度第1回理事会開催(案) 上程

平成25年5月25日 北信地区 場所未定

採決 賛成多数 承認

閉会

議事録作成人 白石 直仁

長野県木青連 平成25年度 第1回理事会 議事録(案)

日時／平成25年5月25日 PM15:00～17:30

場所／長野木協事務局

出席者15名(理事11名)

◎会長 中澤 勝成 出席
 直前会長 島田 直政 出席
 監事 田中 俊章 出席
 監事 印出 晃 出席
 ◎代行副会長 宮川 秀紀 出席
 ◎副会長 深沢 猛 出席
 ◎副会長 田中 雄介 出席
 ◎北信木青連 会団長 澁澤 一吉 出席
 ◎北信木青連 副会団長 山崎 泰雄 出席
 ◎東信木青連 会団長 新井 藤弘 出席
 ◎東信木青連 副会団長 田中 雄介 出席
 ◎松本材青会 会団長 大蔵 竣介 欠席
 ◎松本材青会 副会団長 降幡 聡 出席
 ◎事務局長 白石 直仁 出席
 事務局次長 佐原 弘一 欠席
 事務局次長 土倉 宜也 出席
 事務局主事 松本 寿弘 欠席
 大育創造委員会委員 瀧沢 良夫 出席
 オブザーバー 日野原和仁 出席
 ◎印は理事

■議長指名 中澤会長より宮川代行副会長を指名。

■定足数確認 理事11名中10名 委任状1名 本会議は成立します。

■第1号議案

中澤会長 上程
 意見質問者 無し
 挙手による採決 賛成者多数 承認

■第2号議案

宮川代行副会長 上程
 PRカレンダー前年度の決算額が間違っていました但本会議
 には訂正された資料を制作し配布。説明

KP日野原さん 注文方法の説明 年々カレンダー部数が
 減ってきているので各会団、理事の皆様にごんばっていた
 きたいです。

◎補足説明 中澤会長、島田直前よりPRカレンダー部数を増
 やす為に、過去購入者の呼び戻し、各会員で会社で複数額
 のカレンダーあればその制作の割合を増やす等検討してほしい

◎新井 正式な注文書はいつになりますか？

KP日野原 この会議の後すぐに作成開始します。

挙手による採決 賛成者 多数 承認

■第3号議案

田中副会長 上程
 意見質問者
 ◎新井会団長 表彰式はもう決定ですか？(金額など)
 中澤会長 はい、決定しています。玉串料として予算をあ

げている。

◎新井会団長 全国大会の交通費予算は来年度のものですか？
 中澤会長 そうです。

◎新井会団長 予備費がないが大丈夫ですか？
 田中副会長 賞状を手書きにしたり、賞の数(優秀賞は10)
 決めて支出を抑えます。
 KP日野原さん 趣意書をコンパクトにしたり記念品の数
 を決めるなどで予算を押さえていくのは良いことだと思
 います。

◎宮川代行副会長 作品数が多い時、みなさんどうしていますか？
 KP日野原さん 多数の出品がある学校ではその場である
 程度会員がピックアップするようになってます。

◎田中監事 オフィシャル感を出すために腕章等を作った
 らどうか？
 新井会団長 会団の無い地域ではやってもらえないのでは？
 中澤会長 予算内で松本主事がいる所で執行部で一任。

挙手による採決 賛成多数 承認

■第4号議案

深澤副会長 上程
 ◎新井会団長 120脚の予算で出ているが100脚分しか作ら
 ないのはおかしいのでは。

深澤副会長 120脚中20脚は予備なので100脚で予算を作り
 直します。

挙手による採決 賛成者 多数 承認

■第5号議案

中澤会長 上程

中澤会長より 時節柄、暑気払いも考えています。

挙手による採決 賛成多数 承認

■第6号議案

役員選考委員会発足の件 中澤会長 上程

挙手による採決 賛成多数 承認

■協議事項

- ①中澤会長 信州の木活用モデル地域支援事業の説明
 KP日野原さんから補足説明
- ②中澤会長 木育コンテンツ協力依頼の説明
 KP日野原さんから補足説明
- ③白石事務局次長 木青連たより(サッシ)返却のお願い依頼
 6月8、9日省エネフェアまでに各会団長の方返却願います。

■会団事業・活動報告

北信木青連 澁澤会団長より報告
 東信木青連 新井会団長より報告
 松本材青会 降幡副会団長より報告

■監事講評

印出監事 意気込みを感じられました。良かったです。
 田中監事 みんなで協力して行きましょう。

■閉会

長野県木青連 平成25年度 第2回理事会 議事録(案)

日時／平成25年5月25日 PM15:00～17:30

場所／長野県林業センター5階

出席者

◎会 長 中澤 勝成 出席
直前会長 島田 直政 出席
監 事 田中 俊章 欠席
監 事 印出 晃 出席
◎代行副会長 宮川 秀紀 出席
◎副 会 長 深沢 猛 出席
◎副 会 長 田中 雄介 欠席
◎北信木青連 会团长 濹澤 一吉 欠席
◎北信木青連 副会团长 山崎 泰雄 出席
◎東信木青連 会团长 新井 藤弘 出席
◎東信木青連 副会团长 田中 雄介 (副会長兼任)
◎松本材青会 会团长 大藏 竣介 出席
◎松本材青会 副会团长 降幡 聡 欠席
◎事務局長 白石 直仁 出席
事務局次長 佐原 弘一 欠席
事務局次長 土倉 宜也 欠席
事務局主事 松本 寿弘 出席
オブザーバー 日野原和仁 出席
出席者数13名 ◎印は理事

議長指名 中澤会長より宮川代行副会長を指名。

客足数確認 理事11名中7名 委任状提出4名 本会議は成立します。

1号議案 中澤会長 上程
意見質問者 無し
挙手による採決が行われ賛成多数で承認されました。

2号議案 白石事務局長 上程
意見質問者
Q 島田直前会長 細川忠國氏は3万のご祝儀があったのですか？
A 白石事務局長 はい。
理事長として2万円、歴代表として1万円です。

挙手による採決が行われ、賛成多数で承認されました。

3号議案 田中副会長代理 中澤会長 上程
意見質問者
ポスター配布、通知の遅延について松本主事より補足説明。
賞品数について日野原氏より補足説明。
意見質問者
日野原氏 昨年佳作数が150超だった上小には佳作の数を抑えて頂きたい。
Q 島田直前 予算を抑える意味で広告の支出を抑えたらどうでしょうか？その分を佳作の賞品にまわさせませんか？

A 中澤会長 既に広告料が支払われております。
Q 土倉事務局次長 腕章は高い物ですか？
安いタイプで良いのでは？
A 日野原氏 首掛けネームプレートタイプであれば名刺部分に印字して作りますが。
A 島田直前 オフィシャル間があるのは腕章かと。
Q 宮川代行 腕章の予算はどうですか？
A 松本主事 腕章が65本位の数になると厳しいです。
A 日野原氏 予算を圧迫しない程度のものでこれから提案します。
松本主事 集計の際に学校数が間違っていたりすると追加印刷料が発生して予算を圧迫するので集計の予期には十分気を付けて下さい。

挙手による採決が行われ、賛成多数で承認されました。

4号議案 深澤副会長 上程
意見質問者
Q 新井会团长 PR事業費が85,000円で決算額が75,492なのはどうしてですか？
A 中澤会長 わざわざくり戻しは行わず今回の収入決算としました。

挙手による採決が行われ、賛成多数で承認されました。

5号議案 深澤会長 上程
意見質問者 無し
挙手により採決が行われ賛成多数で承認されました。

協議事項
①中澤会長 林務部との懇親会を再会したいと思っています。
松本主事 懇親会が出来る時期としては9月か11月だと思います。
中澤会長 再会出来るように計画を進めて行こうと思っています。

会団事業・活動報告
北信木青連 山崎副会团长より報告
東信木青連 新井会团长より報告
松本材青会 大藏会团长より報告

監事講評 印出監事 理事会の回数が例年より1回少なく、理事会の議案が密になってきていますが、がんばっていきましょう。
次回、理事会には出席率100%を目指して声を掛け合って出席して下さい。

閉会

長野県木青連 平成25年度 第3回理事会 議事録(案)

日時／平成25年12月7日 14:00～17:30

場所／和合会館 中ホール

出席者

◎会 長 中澤 勝成 出席
直前会長 島田 直政 出席
監 事 田中 俊章 欠席
監 事 印出 晃 出席
◎代行副会長 宮川 秀紀 出席
◎副 会 長 深沢 猛 出席
◎副 会 長 田中 雄介 出席
◎北信木青連 会团长 濹澤 一吉 出席
◎北信木青連 副会团长 山崎 泰雄 出席
◎東信木青連 会团长 新井 藤弘 欠席
◎東信木青連 副会团长 田中 雄介 (副会長兼任)
◎松本材青会 会团长 大藏 竣介 欠席
◎松本材青会 副会团长 降幡 聡 欠席
◎事務局長 白石 直仁 出席
事務局次長 佐原 弘一 出席
事務局次長 土倉 宜也 出席
事務局主事 松本 寿弘 出席
木育創造委員 瀧沢 良夫 出席
オブザーバー 日野原和仁 出席
出席者数14名 ◎印は理事

議長指名 中澤会長より宮川代行副会長を指名。

議事録作成人 白石事務局長
客足数確認 理事11名中8名 委任状提出2名 本会議は成立します。

1号議案 平成25年度第2回理事会議事録(案)承認の件
中澤会長 上程 賛成多数 承認

2号議案 平成25年度信州環境フェア2013【木工教室】収支決算(案)承認の件
深澤副会長 上程
《質疑応答》
Q 田中副会長 県会員の出席者人数は何人ですか？
A 日毎の出席者は分かりかねますが2日合計で15人位でした
田中副会長 イベント事には地元会員だけでなく、なるべく多い会員の出席を要望します。
土倉事務 会場ではもっと木青連の活動を前面にアピールして欲しい。
深澤副会長 森林税のアピールと共に。意識的にアピールの機会を増やさなければいけないと反省点が残りました。
挙手にて賛成多数 承認

——直前会長が到着されたので一旦中座、15分休憩——

——再開——

第3号議案 平成25年度第36回長野県児童・生徒木工工作コンクール収支決算(案)承認の件
田中副会長 上程
田中副会長より 審査会、表彰式での会員の参加協力を来年度以降は是非ご協力願います。
《質疑応答》
中澤会長より 予算より14万オーバーした件について説明
①ポスターを作った
②出点数が100点をオーバーした。(予定よりも多かった)
③佳作賞の値段が上がって150円→210円となった。
広告を出した事でこの事業への関心が多く、出店者増になったご理解いただきたい。
濹澤会团长 出費がかさんだが出点数増は関心の高きの現れなのでよかったのではないかと？
宮川副会長 出点数の部分以外での出費は予算付けが甘かったのではないかと？会員の参加者増のために(全員参加をめざすために)各会員に役割分担をつけたらどうか？
田中副会長 次年度の担当の方と良く検討したいと思います。
中澤会長 松本主事のご尽力もあり諏訪大社で表彰式が行えたことは良かった。
賛成多数 挙手 承認

第4号議案 平成25年度PRカレンダー収支決算(案)承認の件
宮川代行 上程
宮川代行より 資料には昨年減とあるが資料作成後に追加があり実際には最終的に若干増でした。
日野原氏 例年に比べ注文が遅かったです 会団からの注文が10月頃からだだったので発送が遅れてしまう要因になります。早めの発注をよろしく願います。
濹澤会团长 次年度に通達時期は早めて連絡いたします
賛成多数 承認

第5号議案 親睦事業開催(案)承認の件
中澤会長 上程
挙手にて採決 賛成多数 承認

第6号議案 第4回定例理事会開催(案)承認の件
中澤会長 上程
次回理事会日、会場未定ですが上田でおこないます。
挙手にて採決 賛成多数 承認

閉会

長野県木青連 平成25年度 第4回理事会 議事録

開催日時／平成26年2月22日 10:00～

開催会場／ささや 5階会議室

出席者14名 (◎印は理事を示す)

◎会長	中澤 勝成
直前会長	島田 直政
◎代行副会長	宮川 秀紀
◎副会長	田中 雄介
◎副会長	深沢 猛
監事	印出 晃
監事	田中 俊章
◎北信木青連 副会長	山崎 泰雄
◎東信木青連 副会長	田中 雄介
◎事務局長	白石 直仁
事務局次長	土倉 宜也
事務局次長	佐原 弘一
事務局主事	松本 寿弘
木青創造委員	瀧沢 良夫

議長指名 中澤会長より宮川代行副会長を指名。

理事11名中 出席者8名 委任状2通 従いまして本会議は成立致します。

1号議案 平成25年度第3回理事会議事録(案)承認の件
中澤会長 上程
賛成多数 承認

2号議案 平成26年度長野県木青連役員・出向者(案)承認の件
中澤会長 上程
中澤会長より 人事空欄があります。人事空欄を埋めて頂きたい。

役員選考のため10分間中座

再開

監事 島田直前
事務局次長 田中雄介副会長
常任理事 財務委員長 島田直前
オリンピック対策委員 中澤会長

拍手にて賛成多数 承認

3号議案 平成26年度第55回県会員中信大会開催(案)承認の件
宮川代行 上程

中澤会長より 会議室は押さえてありますか？
宮川代行 はい、会議する場所は既に押さえてあります。

賛成多数 挙手 承認

閉会